

第5学年 体育科学学習指導案

日時：平成21年11月9日（月）
5校時（13:45～14:30）
場所：港区立港南小学校 体育館
学級：第5学年2組 32名
担任：田中 美智子
指導者：下橋 良平

授業モデル ボール運動「チームづくり型授業モデル」

1 単元名 ボール運動「キャッチバレーボール」

2 単元の目標

技能	○状況に応じてボールを片手や両手で操作したり、チームの連係プレーによる攻撃が成り立つように素早く場所を移動したりして、ゲームを楽しむことができる。
態度	○互いのよさを認め合いながら進んで運動に取り組み、ルールやマナーを守って、友達と助け合って活動に取り組むことができる。
思考 判断	○自分のチームの特徴を生かした作戦を立て、工夫して活動に取り組み、一人一人がチームの力の高め方を学んでいくことができる。

3 単元の評価規準

技能	○ボールを片手や両手で操作したり、チームの連係プレーによる攻撃が成り立つように素早く場所を移動したりして、ゲームができる。
態度	○互いのよさを認め合いながら進んで運動に取り組もうとする。 ○ルールやマナーを守って、友達と助け合って活動に取り組もうとする。
思考 判断	○自分のチームの特徴を生かした作戦を立て、工夫して活動に取り組んでいる。 ○チームの力の高め方を知り、一人一人が自分のチームの力を高めている。

4 運動の特性（魅力）

(1) 一般的特性

- ネットをはさんだ攻防でゲームを行い、集団対集団で得点を競い合うことを楽しむ運動である。
- 軽くてやわらかいボールを、片手や両手ではじいたり、つかんだりして操作することで楽しめる運動である。
- チームの連係プレーによる攻撃が成り立つように、ボールの方向に体を向けたり、素早く場所を移動したりして楽しむ運動である。
- 得点ごとにプレーが止まることから、自分のチームの特徴に応じた作戦を何度も試すことができ、作戦を生かした動きをすることが楽しい運動である。

(2) 児童から見た特性

- ボールのやわらかさや、ネットをはさんだ攻防により、安心して学習を進められる運動である。
- ボールをつないだり、相手コートにボールを打ち返したりすることに楽しさを感じる運動である。
- ゲーム中に仲間と励まし合ったり、アドバイスし合ったりして、チームでかかわり合いながらプレーする喜びを感じられる運動である。
- チームの友達と協力し合って作戦を立てたり、めあての解決に向かって取り組んだりすることができる運動である。

5 児童の実態

特定の領域に限り体育専科として指導者がかかわっている学級である。日常の担任の指導もあり、素直な児童が多く、明るい雰囲気のある学級である。地域のスポーツクラブに所属して日常的に活動している児童は少なく、ボール運動を行ったときに、技能面でチームを引っ張れる児童は少ない。しかし、運動すること自体を好きな児童が多いため、苦手意識がある運動でも自分のめあてをもって活動できている。

男女を問わず友達とかかわれる児童も多く、普段の授業で互いに励まし合ったり認め合ったりしている姿が多く見られる。

本単元に取り組む前は、ベースボール型のティーボールに取り組んだ。よさを認め合うことを重点的に指導し、チームとしてのまとまりを高めることができた。

本単元前の意識調査（別添資料）では、前単元でティーボールの学習を経験したこととして「作戦を考える」ことや「チームとしてのまとまり」に目が向いている児童が多い実態がある。

6 主題に迫るための手立て

- (1) 年間計画・・・ベースボール型 → ネット型 → ゴール型（第5学年）
- (2) 学習過程・・・単元計画、はじめのルール、対戦方式、ミニゲーム、チーム編成
- (3) 評価・・・自己・他者・チーム評価の一体化、1単位時間の評価、記録係による評価
- (4) 学習資料・・・カインテーション、フォイス&チャレンジカード、練習カード、記録カード、チームカード、ピンポイントカード

7 学習過程

段階	学び方・チームの力を知る			
時間	第1時	第2時	第3時	第4時
重点	チームのよさや自分のよさを見付ける			
学習内容・活動	<p>①オリエンテーション漫画で単元のねらいや学習の進め方を知り、単元の見通しをもつ。 ○学習資料の活用の仕方について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>チームカード 記録カード チョイス&チャレンジカード ピンポイントカード</p> </div> <p>②チーム編成を行う。 ○バランスチーム編成 ○1チーム4～5人(6チーム) ○単元を通して同一チーム</p> <p>③用具の準備について知る。</p> <p>④準備運動について知り、取り組む。 ○ラン&パス</p> <p>⑤ゲーム運営の仕方やはじめのルールについて知る。</p> <p>⑥試しのゲームに取り組む。 ・4人対4人 ・ゲームは時間制(6分)</p> <p>⑦整理運動をする。</p> <p>⑧学習の振り返りをする。</p> <p>⑨学習のまとめをする。</p> <p>⑩用具の片付けをする。</p>	<p>①用具の準備をする。</p> <p>②本時の学習内容を知る。</p> <p>③めあて・作戦を確認する。</p> <p>④準備運動とボール慣れをする。 ○席替え鬼</p> <p>⑤ミニゲームに取り組む。(5分)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px;">○レシーブゲーム</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px;">○ラリーゲーム</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px;">○アタック・ブロックゲーム</div> </div> <p>⑥ゲームに取り組む。 〈はじめのルール〉 ・人数：4人対4人 ・ゲームは時間制(1ゲーム6分) ・3回で相手のコートにボールを返球する。 ・ボールを落としたら相手チームに1点が入る。 ・得点をとったチームがサーブを打つ。 ・得点が入ったら時計回りにローテーションをする。 ・1球目キャッチ→2球目キャッチ→3球目はじく ○対戦表に従ってゲームを行う。 ○審判やゲームの記録の仕方について知り、取り組む。 ・役割分担 審判1人(2人) 得点1人 記録2人</p> <p>⑦整理運動をする。</p> <p>⑧学習の振り返りをする。</p> <p>⑨学習のまとめをする。</p> <p>⑩用具の片付けをする。</p>		
支援	<p>○チームの力を高めていくために学習資料を活用することを理解させ、記入例をもとにして記録カードを記入させたり、チーム内でよさを認めてあげる相手を確認したりする。</p> <p>○事前に「ゲームに生きるプレー」「チームとしてのまとめり」「チームの力を高めるための考え」の力が等質で、児童同士の間関係に配慮したチーム編成を行う。</p> <p>○準備運動やミニゲームがゲームにつながるよう、活動のねらいを理解させる。</p> <p>○学習のまとめでは、ミニゲームでねらった動きができた児童を賞賛する。</p>			
評価	<p>○チームや他チームの友達とかかわり、互いのよさを認め合おうとする。(態度)</p> <p>○仲間と役割を分担しながら、安全に気を付けて用具の準備や片付けを進んで行おうとする。(態度)</p> <p>○学習の進め方やキャッチバレーボールのルールを理解してゲームに取り組んでいる。(思考・判断)</p> <p>○両手や片手でボールを操作して、ゲームに取り組むことができる。(技能)</p>			

チームの力を高める

第5時

第6時

第7時（本時）

第8時

一人一人がチームへの貢献につながる課題解決を積み重ね、「チームの力」を高める。

- ①用具の準備をする。
- ②本時の学習内容を知る。
- ③めあて・作戦を確認する。
- ④準備運動とボール慣れをする。

○対面パス

- ⑤チームの時間に取り組む。
○チームの課題に応じた活動に取り組む。
- ⑥ゲームに取り組む。
【2・3・4・5・6時 リーグ戦】
○ゲーム後、審判チームから記録カードをもとにアドバイスを。

時	Aコート	審判	Bコート	審判
2	A-B	C	D-E	F
	A-C	B	D-F	E
	B-C	A	E-F	D
3	B-F	C	A-D	E
	C-F	B	A-E	D
	B-D	F	C-E	A
4	A-F	C	B-E	D
	A-B	F	C-D	E
	C-F	A	D-E	B
5	D-F	E	A-C	B
	B-E	D	A-F	C
	B-C	A	D-E	F
6	A-E	C	B-D	F
	C-E	A	B-F	D
	A-D	E	C-F	B

- ⑦整理運動をする。
- ⑧学習の振り返りをする。
- ⑨用具の片付けをする。

- ①用具の準備をする。
- ②本時の学習内容を知る。
- ③めあて・作戦を確認する。
- ④準備運動とボール慣れをする。

○ラン&パス

- ⑤チームの時間に取り組む。
○チームの課題に応じた活動に取り組む。
- ⑥ゲームに取り組む。
【7・8時 対抗戦】
○同じ相手と続けて対戦する。

時	Aコート	審判	Bコート	審判
7	青 対 白	緑	黄 対 紫	赤
	青 対 白	紫	緑 対 赤	黄
	黄 対 紫	白	緑 対 赤	青
8	紫 対 緑	黄	赤 対 青	白
	白 対 黄	紫	赤 対 青	緑
	紫 対 緑	赤	白 対 黄	青

- ⑦整理運動をする。
- ⑧学習の振り返りをする。
- ⑨用具の片付けをする。

○前時の様子やチームカードの記述等から事前に重点的に指導・支援に入るチームを決めておくようにする。
○用具の準備やゲーム間の移動をすばやくできるように、1単位時間の流れ等を示した掲示資料を用意する。
○準備運動・チームの時間・ゲームで、「チームのまとめり」「ゲームに生きるプレー」「チームの力を高めるための考え」のよさを賞賛する。
○ゲームに生きるプレーに高まりが見られない児童に対して、重点的に個に応じた助言をする。
○記録カードもとにしたアドバイスをゲームに生かすように助言する。

○両手や片手でボールを操作してパスをつないだり、関係プレーができるよう素早く移動したりできる。（技能）
○ルールやマナーを守って、仲間と助け合いながらチームの時間やゲームに進んで取り組もうとする。（態度）
○チームの特徴に応じた作戦を立ててゲームに取り組み、作戦について振り返っている。（思考・判断）

8 本時の学習（8時間扱いの7時間目）

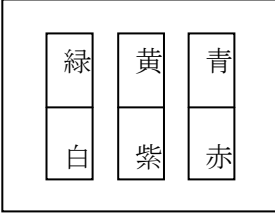
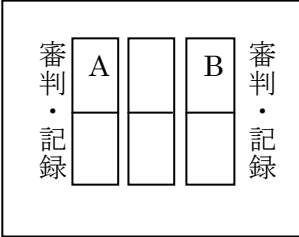
(1) 目標

【技能】チームの連携プレーを意識してゲームをすることができる。

【態度】友達と助け合って活動し、互いのよさを認め合っている。

【思考・判断】自分のチームのよさを生かした作戦を立てたり、チーム時間の活動を工夫したりする。

(2) 展開

めあて	学習活動	学習環境	指導・支援（☆）評価（◇）																				
<p>○「チームの力」を高めよう。</p> <p>○作戦とめあてを確認してチームの時間に組み組もう。</p> <p>○チームの連携プレーを意識してゲームをしよう。</p>	<p>○集合・整列をする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p> <p>○全体で準備運動とボール慣れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラン&パス <p>○チームの時間に取り組む。</p> <p>○ゲームに取り組む。</p>	<p>○掲示資料</p> <p>○用具の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケン ・支柱、ネット ・ボール ・得点板 ・ホイッスル・筆記用具 <p>○ボール慣れ・チームの時間の場</p>  <p>○ゲームの場</p>  <p>・バドミントンコートを使用</p> <p>・ネットの高さ 170cm</p> <p>○学習資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームカード ・マイカード ・記録カード 	<p>☆掲示資料をもとに学習内容の見通しをもたせる。</p> <p>☆準備運動やチームの時間の場は単元の始めから使用しているチームコートで行うよう指示する。</p> <p>☆本時まで各チームの作戦やめあてを確認しておくようにする。</p> <p>◇自分のチームのよさを生かした作戦を立て、チームの時間の活動を工夫している。</p> <p>（思考・判断）【チームカード】</p> <p>☆ゲーム中に、チームの作戦が発現したときには賞賛する。</p> <p>☆チームの連携プレーによる攻撃が成り立つように、素早く場所を移動してゲームを楽しむよう個に応じて助言する。</p> <p>◇チームの連携プレーを意識してゲームをしている。</p> <p>（技能）【観察】</p> <p>◇友達のよさを認めている。</p> <p>（態度）【観察・個人カード】</p> <p>☆友達のプレーのよさやハートのよさに対して声をかけるよう助言する。</p> <p>◇本時のゲームを振り返って、チームのよさを生かした次時の作戦を考えている。</p> <p>（思考・判断）【学習資料】</p> <p>☆ゲームの記録をもとに本時のゲームを振り返るように指示する。</p>																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Aコート</th> <th>審</th> <th>Bコート</th> <th>審</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>青 vs 白</td> <td>緑</td> <td>黄 vs 紫</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>青 vs 白</td> <td>紫</td> <td>緑 vs 赤</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>黄 vs 紫</td> <td>白</td> <td>緑 vs 赤</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> <p>○整理運動を行う。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作戦 ・めあて ・よさ ・自己評価 <p>○用具の片付けをする。</p>		Aコート	審	Bコート	審	1	青 vs 白	緑	黄 vs 紫	赤	2	青 vs 白	紫	緑 vs 赤	黄	3	黄 vs 紫	白	緑 vs 赤	青		
	Aコート	審	Bコート	審																			
1	青 vs 白	緑	黄 vs 紫	赤																			
2	青 vs 白	紫	緑 vs 赤	黄																			
3	黄 vs 紫	白	緑 vs 赤	青																			

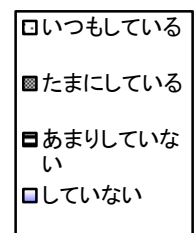
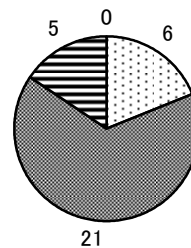
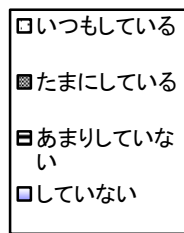
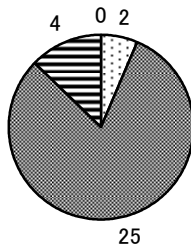
児童の実態及び考察

調査日：平成21年10月13日（火）

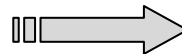
調査人数 32名（ティーボール前は31名）

① よさに対する意識（人）

Q1 あなたは、クラスの人たちのよい所に目を向けるようにしていますか。

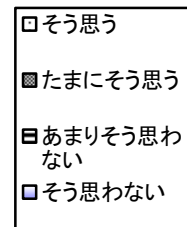
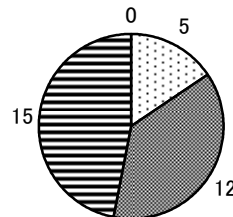
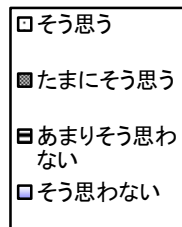
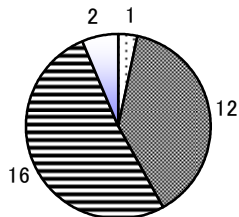


ティーボール前

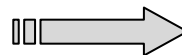


キャッチバレーボール前

Q2 あなたは、クラスの人たちから自分のよい所を認めてもらっていると思いますか。



ティーボール前



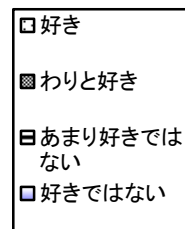
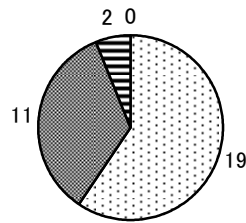
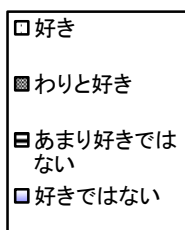
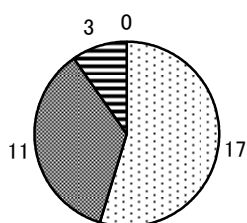
キャッチバレーボール前

本調査は、キャッチバレーボールの単元前に行ったティーボール前にも同様に実施している。ティーボール前と同じ傾向として、よさについては、「自分はクラスの人達のよさに目を向けているが、自分のよさは認めてもらっていない。」という児童が多い。ただし、ティーボールでボール運動を経験したことにより、数値の向上が見られる。

本学習でも、単元初めは互いのよさを認め合うことを通して、チームの和を高めることに重点を置いた学習を進めていきたい。

② 体育の授業に対する意識

Q3 あなたは体育の授業は好きですか。



ティーボール前

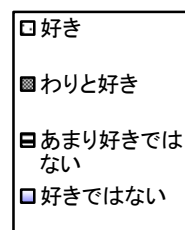
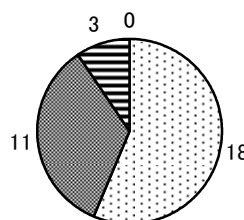
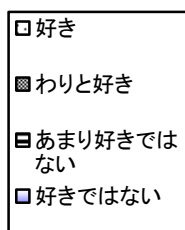
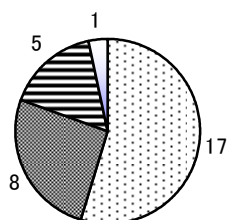


キャッチバレーボール前

ほとんどの児童が体育の授業を好きであることがわかる。キャッチバレーボールでは、「あまり好きではない」と回答した2名の児童を重点的に指導し、ボール運動の楽しさを味わわせることができるようにしていきたい。

③ ボール運動の授業に対する意識

Q4 あなたはボール運動の授業は好きですか。



ティーボール前



キャッチバレーボール前

ティーボール前に比較すると、「あまり好きではない」「好きではない」と回答した児童が少なくなった。ティーボールの学習で、互いのよさを認め合う習慣化が少しずつできるようになってきたことや「プレーのよさ」だけでなく、「ハートのよさ」「考えるよさ」でも活躍する場面があることを知ったためと考えられる。

Q3の考察と同様に、「あまり好きではない」と回答した3名の児童に対して重点的に指導していきたい。

④ チームワークについての意識

Q5 「チームワークがよい」とはどういうことだと思いますか。(人)

・励まし合っている	10	・協力し合う	7
・仲がよい。息があっている。	6	・作戦をよく考える。	3
・アドバイスし合う	5	・みんなが一つになっている	4
・認め合っている	4	・よく話し合いをする	2

ティーボールの学習を通して互いのよさを認め合うようにしてきたこともあり、ティーボール前に比較すると「励まし合っている」「協力し合う」「アドバイスし合う」などのチームとしてのまとまりを具体化した記述が多い。

本学習を通して、より具体的な姿としてチームの和が高まった姿をイメージできるようにしていきたい。

⑤ ボール運動の学習についての意識

Q6 ボール運動の学習を進めていく上で大切なことはどんなことですか。思いつくことを3つ書いてください。

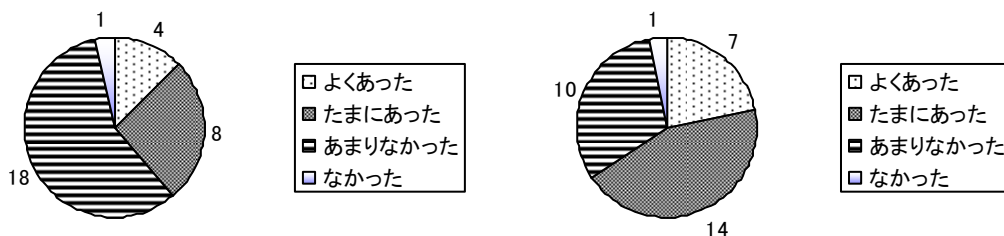
・作戦を考える	19	・チームワーク	14
・声をかけあう	6	・アドバイスし合う	5
・励まし合う	4	・協力する	3
・認め合う	3	・よい所を見つける	2
・ルールを守る	2	など	

ティーボールの学習を経験したこともあり、「作戦を考える」が一番多い回答であった。作戦を考えることがボール運動で大切であると意識している児童が多いことから、自分たちのよさを生かした作戦を立てるように今後重点的に助言していきたい。

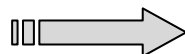
また、「チームとしてのまとまり」に関する具体的な記述が多いことから、まとまりが大切であると考えている児童が多いことがわかる。単元初めのよさの見つけ合いでかかわり合いの基盤をより一層築きながら、チームの力を高めるようにしていきたい。

⑥ チームへの貢献についての意識

Q7 ボールを使ったゲームの中で自分がチームの役に立っていると感じたことはありますか。



ティーボール前



キャッチバレーボール前

- | | |
|----------------|----------------|
| ・アドバイスをしたとき 9 | ・応援をたくさんしたとき 7 |
| ・上手にプレーできたとき 6 | ・作戦を考えたとき 4 |
| ・励ましたとき 2 | ・得点したとき 3 |
| ・声をかけたとき 2 など | |

ティーボールの学習前と比較すると、キャッチバレーボールの学習前では「チームの役に立っている」と意識している児童が増えている。

またティーボール前の意識調査では、理由に「ゲームに生きるプレー」に関する記述が多かったが、キャッチボールの学習前になると「チームとしてのまとまり」や「チームの力を高める考え」を意識して記述している児童が増えている。

ティーボールの学習で自分がチームに貢献するとは、プレー面に関するだけでなく、ことが理解できていることがわかる。

本学習では、「なかった」と回答した1名の児童をより一層重点的に指導し、チームに貢献できたという体験を多く味わわせていきたい。

また、「あまりなかった」という児童にもチームに貢献できたことを適切に評価していくことで、チームの力を高めることができるチームの一員であることを実感させていくようにする。